国立国会図書館は立法府に属し、国会、行政・司法の各部門及び一般公衆に対して幅広いサービスを提供しています。国立国会図書館の業務は調査業務・司書業務・一般事務に分けられ、総合職試験、一般職試験等での採用者はこれら３つの業務の様々な仕事を担います。
職員は、特別職の国家公務員である国会職員で、東京本館（東京都千代田区永田町）、関西館（京都府相楽郡精華町）又は国際子ども図書館（東京都台東区上野公園）で勤務します。
職員の定員は 895 名（令和７（2025）年4月現在）です。

身分

国会職員（特別職国家公務員）
※勤務条件等は一般職の国家公務員とほぼ同様です。

勤務時間

本則は、午前９時から午後５時 45 分まで（休憩 60 分を含む）。
また、育児短時間勤務、保育時間、育児時間、早出遅出勤務、時差通勤、フレックスタイム制等の制度を利用できます。

給与

給料は一般職の国家公務員の給料に準じた額となります。
また、期末・勤勉手当（6・12 月期）、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当等が支給されます。

勤務地

【東京】東京本館（東京都千代田区永田町）
国際子ども図書館(東京都台東区上野公園)
【京都】関西館（京都府相楽郡精華町）
※官署間の異動、東京と京都間の転勤があります。

キャリアパス

国立国会図書館の職員は、定期的な異動によって様々な部署や業務を経験し、多様なキャリアを歩みます。学歴、専攻にかかわらず、職員の適性や希望等を考慮して、配属先を決定します。

係　員　級
係　員

係　長　級
主査・係長・副主査

課　長　補　佐　級
課長補佐・主査

管　理　職

組織図

- 館　長
- 副館長
  - 総　務　部（約120名）
  - 調査及び立法考査局（約190名）
  - 収　集　書　誌　部（約160名）
  - 利用者サービス部（約180名）
  - 電　子　情　報　部（約70名）
  - 関　西　館（約120名）
  - 国際子ども図書館（約40名）
  - 行政・司法各部門支部図書館（27館）

寮・宿舎

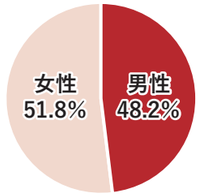
代々木上原寮

京都宿舎

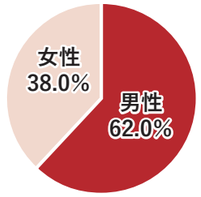
東京都渋谷区に代々木上原寮（独身者用）が、京都府相楽郡精華町に京都宿舎があります。

●代々木上原寮
東京メトロ千代田線代々木公園駅から徒歩５分
●京都宿舎
関西館から徒歩５分

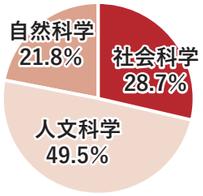
職員統計



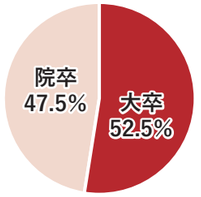
職員の男女比
（令和6年度末現在）



管理職の男女比
（令和6年度末現在）



大学等での専攻
（過去5年以内入館者）



大卒者と院卒者の人数比
（過去5年以内入館者）

国立国会図書館ホームページの「次世代育成支援及び女性活躍推進」に育児休業取得率、女性の活躍状況等に関する統計情報の詳細等を掲載しています。〈https://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/policy/jisedai.html〉